

2014年8月19日

京都府知事 山田啓二 様

日本共産党京都府委員会大雨災害対策本部  
本部長 渡辺 和俊  
副本部長 前窪義由紀

## 8月15日からの大雨被害に対する対策を求める緊急申し入れ（第一次）

8月15日から16日にかけての大雨による被害にあわれた皆さんに心よりお見舞いを申し上げます。また暑い中、被災者支援の活動と復旧に全力をあげておられる職員や関係者のみなさんの昼夜を分かたぬ奮闘に敬意を表します。

今回の大雨は、台風11号の被害に続き府域全体に被害をもたらしました。中でも300ミリ（日量）を超える雨量となった福知山市をはじめ各地に甚大な被害が出ています。日本共産党京都府委員会は大雨災害対策本部を発足し、17日にこくた衆議院議員、倉林参議院議員が現地に入り、また18日には府会議員団が市町村議員団と連携して調査に入りました。現地では報道されている箇所以外でも大規模な被害が出ており、住民の皆さん、商工関係や自治体関係者からも切実な要望が出されています。

これらを踏まえ、救援・復旧を急ぐため、緊急に以下の点について申し入れをいたします。

### 記

- 1、被害地域全体にきめ細かく対策をとるため、福知山市街地の被害とともに、市街地以外や、今年の台風に続き連続的に被害を受けることとなった旧大江町、綾部市、舞鶴市なども含め、市町村と連携をとり被害の全体を緊急に掌握すること。また、大雨による山の亀裂などの点検を緊急に行い安全対策をとり、被害の拡大や二次被害を防ぐこと。
- 2、今回、内水被害が大きかったこともあり、泥や流木、ゴミが大量に流れ込み、復旧の大きな妨げとなっている。このため内水対策、道路・公共施設の復旧とともに、個人の住宅や商店、事業所などへのボランティア配置も含む直接的な支援策を急ぐこと。また緊急に被災者の居所確保を含む生活環境の回復に万全を期すこと。
- 3、大量のゴミや泥などの災害廃棄物の処理は、衛生上の問題も含め、早期の対応ができるよう支援を行うこと。また衛生問題への対応に全力をあげること。
- 4、生活再建へ独自の住宅再建支援を含む支援策を講じること。また小売店、事業所などの被害も甚大であるため、生産設備・原材料・備品等や「ゆらのガーデン」等観光施設への独自の補助・支援制度の創設をはじめ、生業支援に全力を挙げること。
- 5、農林業・畜産業被害は、今年の台風被害に続き、また収穫時期とも重なったため、生産意欲をそぐような被害となっている。新規就農者をはじめ、営農が続けられるよう特別な支援を行うこと。
- 6、災害救助法、被災者生活再建支援法の指定に続き、激甚災害指定を行うとともに、被災された住民や事業所等に活用できる制度の周知と徹底、弾力的運用を行うこと。また指定されていない地域への独自の支援策を同様にとること。

以上